

学会を担当して

第57回日本医学検査学会を担当して

第 57 回日本医学検査学会実行委員長 高橋 智哉

北海道の澄み切った青空の下、第 57 回日本医学検査学会が北海道臨床衛生検査技師会担当で、5 月 30 日(金)~31 日(土)の両日、札幌コンベンションセンター・アクセスサッポロ・札幌市産業振興会館に於いて開催されました。今学会に多数ご参加を頂き有難うございました。無事終了したことを心から感謝致します。



さて、今学会はメイン会場と展示会場が離れているというハンデをどのように克服するかが一つのポイントでした。幸い予想以上の一般演題の応募があったため、ポスター演題を展示会場に振り分けることで会員の往來を盛んにするという考えに至り、この考えは的中し、ポスター会場は大盛況、また、展示会場にも多くの会員が足を運んで頂きました。シャトルバス 8 台の運行もお役に立ったようです。また、同一会場でなくても企画次第で集客はできることを改めて感じたところです。

もう一つのポイントは会場運営と進行でした。会場運営につきましては、参加して頂いた多くの会員からお褒めのお言葉を頂いておりホッとしております。進行に関しては多くの演題を進めることから、演者、座長の方々にご迷惑をおかけしたのではないかと思います、この場を借りましてお詫び申し上げます。



最後に、今学会では働く女性のために託児所を設けていました。小さいお子様が会場にいらしたことに気づきになりましたか。その姿を見て、しばし実務を忘れたのは私だけではない

でしょう。最後になりましたが、このような機会を与えて頂いた日臨技と全国の会員に感謝したいと思います。

旭山動物園の活性化



一般市民公開講演として行われた招待講演は、旭川市旭山動物園小菅正夫園長による「旭山動物園の活性化」である。

夏は 30 度を超え、冬は氷点下 25 度を下回る気候条件下の動物とともに生きる話であった。

招待講演

人はよく動物に例えて話をするが、氏は動物の立場にたって「人に例えて」話された。人も動物も同じで、他のものにはない、自分だけが持つ能力を発揮出来る環境を提供し、評価すれば、能力はますます高まっていくという話は感銘を受けた。何故か！映画「猿の惑星」のシーンが浮かんできた。地球規模での生きる術を教えてくださいました。

展示会に述べ17,000人

今回の展示発表会は、30 日、31 日の 2 日間、アクセス・サッポロにて 89 社 847 コマの出展で行われました。会期中の札幌は気温が低く肌寒い陽気で、しかも学会場からはシャトルバスで約 20 分の会場でしたが、ポスター発表が併設されたこともあり、2 日間の延べ入場者数 17,082 名と展示会場、多目的スペースは熱気ムンムンでした。大盛況のうちに終了することができ、本当にホッとしております。来場されました会



員の皆様、出版社、学会実行委員・実務委員、日臨技役員、ご協力いただいた関係者の皆

様に心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

【東恭吾】

ジンギスカン

第 57 回日本医学検査学会の懇親会が平成 20 年 5 月 30 日(金)19:30 からサッポロビール園で行われました。道内から選りすぐりの検査技師 7 名の和太鼓によるお出迎えで始まり、玄関入口で立ち止まる方もいらっしゃいました。参加者は海外からのお客様も含め総勢 800 名を超えており、北海道遺産の一つであるジンギスカン料理に酔っていました。抽選会は、1 階と 2 階に分かれ各景品の抽選を行い大盛り上がりでした。参加した方が帰り際に我々実行委員に対して「抽選に当たらなかったけど楽しかった。ありがとう!」「抽選会で若い人達が必至になって走り回っていた姿を見て感動しました」あるいは「良い懇親会だったね」等のお話を頂き、懇親会の成功を確信しました。参加者及びご協力頂いた皆様に深く感謝致します。



た。ありがとう!」「抽選会で若い人達が必至になって走り回っていた姿を見て感動しました」あるいは「良い懇親会だったね」等のお話を頂き、懇親会の成功を確信しました。参加者及びご協力頂いた皆様に深く感謝致します。

【浅沼康一】

